

二〇二六年度

群馬県立女子大学 文学部 美学美術史学科

推薦入試問題

小論文

試験時間は十時半～十二時の九〇分です。中途退室は認めません。

途中で気分の悪くなった場合は、黙って手を挙げて下さい。

問題用紙は、この表紙を含めて十枚で、最後の二枚は下書き用の白紙です。解答用紙は一枚です。それぞれが配られたら、指示に従って解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入して下さい。

試験開始の合図があるまで問題用紙の表紙をめくって問題を見てはいけません。

解答用紙の所定の欄に氏名、受験番号を記入し終えたら、静かに試験の開始を待って下さい。

問題

次の文を読んで設問に答えなさい。

著作権上の都合により、ウェブサイトでは公表していません。

著作権上の都合により、ウェブサイトでは公表していません。

著作権上の都合により、ウェブサイトでは公表していません。

著作権上の都合により、ウェブサイトでは公表していません。

著作権上の都合により、
ウェブサイトでは公表し
ていません。

出典…テクタイル（仲谷正史・寛康明・三原聡一郎・南澤孝太）『触楽入門——はじめて世
界に触れるときのよう』（朝日出版社、二〇一六年）

※なお一部改めたところがある。

【設問】

本文をふまえ、自身の経験を具体的に挙げながら、「触覚と芸術」についてのあなたの考えを二〇〇〇字以内で述べなさい。(50点)

